



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年5月16日 No.707

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674



共産党 品川

検索

# 核兵器廃絶の願い

草の根から世界へ

## NPT成功へ日本から1600人参加

第一京浜国道を行進する隊列。(みやざき撮影)



オバマ米大統領が核兵器廃絶を呼びかけ(昨年4月)、米口両首脳は新たな戦略核兵器削減を合意しました。そうした中、核廃絶を願う平和大行進が5月6日第五福竜丸展示館(江東区)から広島に向け出発、翌7日に品川区内を行進しました。

今年の平和行進はこれまでの東海寺→大井塚公園でなく、聖跡公園(北品川)→第一京浜国道のコース。およそ200人が行進して鈴ヶ森児童遊園で大田区に引継ぎました。

一方、核不拡散条約の5年一度の再検討会議が5月3日から国連で始まりました。核保有国による核兵器廃絶の約束を前進させるため反核運動団体などが世界各国から会議の開かれる国連のあるニューヨークに集結し活動。日本から1600人が参加し、品川からは区職員労働組合や平和委員会、高校生平和ゼミナールなどが代表を派遣しました。いま、核兵器廃絶の運動は草の根から世界に向けて大きく広がっています。

核兵器の  
廃絶へ

# 品川区は、「宣言」の 精神に立って行動を

「いかなる国であれ、いかなる理由であれ、核兵器の製造、配備、持込みを認めない。持てる国は、即時に核兵器を捨てよ」(非核品川宣言)——いま品川区には宣言の精神に立って行動が求められています。しかし…

今年、品川区の非核平和都市宣言の制定25周年でもありません。区は例年の広島・長崎への小中学生派遣に加え、記念事業を実施しました。しかし、品川区の核兵器廃絶の取り組みが後退していることは問題です。

品川区はこれまで核実験を実施した国に抗議声明を発表し、核実験中止を求めてきましたが、アメリカやロシアなどの核を爆発させない「臨界前核実験」には抗議していません。「臨界前核実験は包括的核実験禁止条約に違反しないから」というのが理由です。さらに、品川区は非核宣言自治体協議会がアメリカの臨界前核実験に抗議すると決めたことを機に同協議会から脱退(97年3月)しました。同協議会は広島市や長崎市など260自治体が加盟(2010年5月現在)し核兵器廃絶へ共同で行動している団体です。

臨界前核実験は核を爆発させ

ないものの核兵器の能力向上が目的です。「条約に反しなければよし」としたら核実験は野放しとなってしまいます。実際、1963年の「部分核停条約」は地下核実験を禁止対象から除外したために核保有国は核実験を地下で実施。核兵器開発競争を加速させてしまいました。

品川区の非核宣言は、条約に違反するかどうかでなく、いかなる国の核兵器も即時廃棄を求めているのです。臨界前核実験に抗議しないのは宣言の精神にも区民の願いにも反します。

◆ 日本共産党区議団は、品川区に対して非核宣言の精神に立って①臨界前などあらゆる核実験に抗議し、核廃絶を求めること。②国連と核保有国に核兵器廃絶の国際交渉開始を働きかけること。③非核宣言自治体協議会に団結、住民運動とも連帯して行動するよう求めています。

無料  
弁護士  
が対応  
**法律相談**  
は  
5月21日(金) Pm 6:30  
みやさき克俊事務所  
生活相談は随時受付

## 日本共産党 志位和夫 委員長 がアメリカ政府に直接要請!

NPT再検討会議開催(5月3日~5月28日)に合わせ、志位和夫委員長を団長とする日本共産党団表団が訪米。①2000年のNPT再検討会議での核兵器廃絶「明確な約束」の再確認、②核兵器廃絶のための国際交渉の開始—を求め、NPT再検討会議の議長と核軍縮委員長、国連上級代表(軍縮担当)お

よび核保有国、非同盟諸国、新アジェンダ連合、NATO(北大西洋条約機構)諸国など各国代表団と会談・要請してきました。

また、日本共産党代表団はアメリカ政府国務省に出向いて、①核兵器廃絶のための国際交渉の開始、②沖縄・普天間基地の無条件撤去を直接求めました。